

平成 21 年度 福井県立大学大学院  
経済・経営学研究科博士前期課程  
入学者選抜試験問題 (第 2 次)  
専門科目  
経済政策・経済史・経営各論・会計分野

以下の問 1～問 4 の中から 1 問を選んで解答しなさい。

- 問 1 アメリカのサブプライム問題によって、日本でも景気が著しく悪化している。この不況に対して、日本がとるべき金融政策、財政政策、その他の政策について論じよ。その際には、これらの政策が持つ限界と副作用についても留意すること。
- 問 2 次の (1)、(2) のいずれか 1 題を選択して解答しなさい (選択した番号を記入すること)。
- (1) これからの望ましい食料政策について、次の a, b, c から 2 つ以上を踏まえて論じなさい。解答は、世界的に見た食料政策でも、日本に限定した食料政策でも、どちらでもよい。
- a. 工業製品と比較した場合の食料品の特性
  - b. 世界的に見た食糧需給の動向
  - c. 主要先進諸国における食料自給率の推移や日本における食料の供給構造の特徴
- (2) 日本におけるこれからの望ましい農業経営政策 (担い手政策) について、次の a, b, c から 2 つ以上を踏まえて論じなさい。農業経営全般について論じてもよいし、水田、園芸、畜産など、部門を限定してもよい。
- a. 一般の企業経営と比較した場合の農業経営の特性
  - b. 近年の農業就業人口、新規就農者、農地利用の動向
  - c. 農業経営形態の多様化、とりわけ農業経営の法人化問題や集落営農問題
- 問 3 割引回収期間法の計算方法とその特徴を論じなさい。

問4 以下の(1)、(2)、(3)のうちいずれか1題を選び、解答せよ。

- (1) 今日の企業をとりまく実践的な経営課題にはどのようなものがあるか。主要な課題をいくつかあげよ。また、そのうちの任意の特定課題について、より詳細に説明すると共に、基本的な対処方向についても述べよ。なお、実践的な経営課題は、環境状況の変化や技術の変化、市場と顧客の変化、さらにはそこからする企業間関係の変化等から生まれてくる。これは今日のグローバルな経済状況の変化に対してもあてはまることである。そこで、このへんも考慮して記述すること。
- (2) 今新しく事業を始めるとする。その場合、考慮すべきこと、検討すべきことにはどのようなことがあると思うか、説明せよ。これは事業起こしや創業を成功させるには、どのような条件が必要かということである。
- (3) 企業経営において人と組織のあり方はきわめて重要なことである。では、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方には、どのようなことが要請されているか。より具体的には、組織成員にやる気を出させ、企業に成果をもたらすには何が必要か。また、企業側としては、実際にどのような方策をとっているか。これらについて、自らの知るところや考えを述べよ。